

## 令和4年度 東舞鶴高等学校「夏の体験セミナー」校長挨拶

東舞鶴高校、夏の体験セミナーに参加くださりありがとうございます。皆さんを心から歓迎します。

今年もコロナへの対応で、皆さんの中学生活でもいろいろな影響があることだろうと思います。高校入試に関しても不安が有るかも知れませんが、東舞鶴高校は最後まで皆さんの力になりますから、がんばってください。

さて、東舞鶴高校は、来年も普通科の高校として、落ち着いた環境で楽しい普通の高校生活を送りたいという皆さんの期待に応えます。

そんな東舞鶴高校の今年のキャッチフレーズは「夢 Be ambitious」。

東舞鶴高校は、「夢を見つけ 夢を育み 夢を実現させる」高校として、そして生徒一人一人を、地域を大切に、皆さんの未来を必ず応援します。今、本校には、ここの卒業生の先生がたくさんいます。それらの先生も、母校に帰ってきて、生徒ともに夢を追いかけている人たちです。もちろん、他の先生方も思いは同じです。ぜひ皆さんに、そんな先生方と一緒に夢や目標を追う楽しい高校生活を送ってほしいと思っています。

そこで、こんな東舞鶴高校の魅力を3つ伝えます。

### (1)「ゆとりと対話で、高校で伸びる学校」

東舞鶴高校は高校入学後に生徒がぐんぐん伸びる学校です。他校にはないゆとりの中で、先生方とじっくり対話を重ねながら、生徒たちは伸び伸びとした高校生活を送っています。そして、しっかりと学校の応援をもらって進路希望を確実に叶えています。

例えば国公立大学進学を目指す人は、毎年必ずその希望を叶えています。何か特殊な資格を取ったり、時間をかけて遠くまで通学しなくても、東舞鶴高校で大学進学を応援していますから安心してください。また、英語を学びたいなら東舞。この伝統は健在で、英検2級・1級などを取ったり、海外留学ができないかわりにバーチャル国内留学で英語の力を付ける人がたくさんいます。高校卒業後は就職をしようと考えている人、毎年就職率は100%ですから安心してください。

そんな東舞鶴高校ですから、毎年中学校の先生から、「高校に入ってから、あの生徒をこんな風に伸ばしてもらってうれしいです」というような感想をもらうんです。ぜひ皆さんも中学校の先生方からそんな感想を引き出す一人になってください。

### (2)「とんがった人、大歓迎」

東舞鶴高校は、飛び抜けた個性や魅力を持った人、大歓迎です。毎年、生徒の中にはキラリと光る素晴らしい個性を持った人がたくさんいます。もしも仮に他の勉強などが少々苦手でも、「これは自信がある」とか「これは頑張りたい」というものを持った人こそ、その

個性を伸ばせる高校です。

近年の卒業生には、例えば英語力を活かして本校在学中に日本を代表してオーストラリアに留学、高校卒業後はカナダの大学に進んで世界へと羽ばたいた人がいます。あるいは、大学生でも困難な英検1級に合格し、それを活かして国公立大学に進学、将来は国際的に活躍しようと頑張っている人もいます。ボート部では高校在学中に全国大会で優勝し、現在は大学でぐんぐん実力を伸ばし、いずれ日本代表入りをめざしている人、などもあります。

今、在籍している中にも、書道や美術の作品が全国大会に出展されている人たちや、楽器の演奏で実力を発揮する人など、芸術分野で自分の個性を爆発させている人がいます。

東舞鶴高校は、そんな素晴らしい個性を持った人を最大限支援し、その個性をさらに伸ばすよう支援します。

### (3)「東舞のシンボル スクールバス」

本校のシンボルでもある青色のスクールバス、来年の4月以降も続けて運行していく予定です。西舞鶴駅・中舞鶴・東舞鶴駅から高校の正門まで運行していますから、とても便利で安全です。

このスクールバスは、地元の卒業生の方や舞鶴市内の企業の皆さんが、東舞鶴高校を応援してくれていて、そのお陰でスクールバスも運行しています。東舞鶴高校の元気は、舞鶴市の元気の源。皆さんが徒歩や自転車、さらに、このスクールバスで通学する姿を見ることで、「よし、今日もがんばろう」と元気をもらう人がたくさんおられます。そういった人たちの物心両面の支援でスクールバスは動いていますから、まさにスクールバスは東舞鶴高校だけでなく、地元舞鶴市の元気のシンボルなんです。

ぜひ皆さんがこの東舞鶴高校に入学し、スクールバスを利用して、そんな元気を地元に与える人になってください。

なお、今回は一部の部活動体験を見学に変更しました。楽しみにしていた人もあるでしょうが、コロナの感染拡大防止を最優先に考えました。了解してください。今後、必ず部活動体験の機会を作るようにしますので、その時にはぜひ参加をお待ちしています。

他にも、魅力はいっぱいありますが、今日はぜひその一端を体感してください。そして、必ず東舞鶴高校であなたの夢を見つけ、私たちと一緒に実現していきましょう。